

センター通信は、医大学内の全教員と希望者の皆さんに配信しております。

センター通信 Vol.38

▼ 目次 ▲

1. (財)北海道科学技術総合振興センター (ノーステック財団)
平成22年度イノベーション創出研究支援事業 公募案内
2. (独)科学技術振興機構 (JST) A-STEP
平成22年度フィジビリティスタディステージ 公募案内
3. (独)科学技術振興機構 (JST) A-STEP
平成22年度フィジビリティスタディステージ 公募説明会の案内

■□■ (財)北海道科学技術総合振興センター (ノーステック財団) ■□■
http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_6.html#noastec_innovation_2010_6

平成22年度 イノベーション創出研究支援事業

- ①「スタートアップ研究補助金」
- ②「発展・橋渡し研究補助金」

【補助金の目的】

- ①発展的な産学官共同研究や事業化を志向する基礎的・先導的な研究等を推進する
- ②次代の北海道にとって有用な新技術の創出や地域産業の振興につながる可能性が高い研究開発を推進する

【対象研究分野】

- ・食品・バイオプロセス分野
- ・ライフサイエンス分野
- ・環境・エネルギー分野
- ・ナノテク・材料分野
- ・ものづくり分野
- ・情報通信分野
- ・その他の分野

【研究期間】

補助金交付決定の日から平成23年3月31日まで

【補助金額】

- ①200万円以内
- ②400万円以内

【採択件数】

- ①17件程度
- ②若干数

【応募資格】

- ①道内の産学官 (又は産学、産官) で構成された共同研究グループ、及び道内の研究者
- ②道内の産学官 (又は産学、産官) で構成された共同研究グループ

【学内〆切】

平成22年6月2日

【添付書類】

- ・提案データ入力表: 2部
- ・申込書及び提案データ入力表の電子データ: 1式 (CD-R等)

【提出書類について】

- ・申込書は必ず片面印刷とし、左肩をホチキス留めしてください。
- ・各様式とも手書き、切り貼りしたものは受け付けできません。

(独) 独立行政法人科学技術振興機構 A-STEP 平成 22 年度 フィージビリティスタディ【FS】ステージ	
団体名	(独) 科学技術振興機構 A-STEP
事業概要 と 目的	<p>A-STEP は、大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を基にした実用化を目指す為の研究開発フェーズを対象とした技術移転支援事業。</p> <p>事業タイプは以下の三つに分類される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●探索タイプ：研究成果の中から技術移転の可能性を探索するフェーズ ●シーズ顕在化タイプ：シーズ候補を企業の視点から掘り起こして、シーズとしての可能性を検証し、顕在化させる実用化を目指し、また顕在化したシーズの実用化を検証するフェーズ ●起業検証タイプ：研究成果を基にしたベンチャー起業により実用化を目指し、製品化に向けて実証試験を行う為に企業主体で起業化開発を実施するフェーズ
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ①課題の独創性および優位性 ②目標設定の妥当性 ③イノベーション創出の可能性 ④申請内容の実行可能性
応募締切	<p>探索タイプ：平成 22 年 6 月 30 日 (直接 e-Rad からご応募下さい)</p> <p>シーズ顕在化、起業検証タイプ：平成 22 年 6 月 28 日午後 12 時 (産学地域連携センター産学官連携コーディネーター佐藤(内線 2108) まで書類一式をご提出下さい)</p>

各支援タイプの助成内容		
● 探 索 タ イ プ	概要	基礎研究のうち実用化に向けた研究開発へのスムーズな移行を目指す研究成果を対象に、起業化への視点に立脚して技術移転の可能性を探索する研究開発を支援
	申請要件等	<p>①JST のプログラムオフィサー(PD)を核とした支援組織が、目的達成の為実施上必要な協力・支援ならびに事業終了後のフォローアップ等、一連の業務についての支援を行う(進捗状況の現地調査等)</p> <p>②産学官連携従事者および企業の開発関係者に、起業化に繋がる可能性・想定される用途等の見解を求める事が必要(申請書に見解を記入する欄がありますので、産学官連携コーディネーター佐藤(内線 2108) まで必ず御連絡ください。また、企業の研究開発研究者に見解の記載を希望される場合も、知的財産権保護の観点から、一度産学官連携コーディネーターまで御連絡下さい。)</p>
	開発費	130 万円 (30%を上限とした間接経費を含む)
	開発期間	単年度
	申請方法	<p>府省共通研究開発管理システム(e-Rad) から様式をダウンロード(様式 0~6) し、word または PDF ファイル形式で一つにまとめてから直接申請します。</p> <p>様式 1 及び様式 3 に、産学官連携コーディネーター又は企業の開発研究者による記載がある事を確認した上で、申請して下さい。</p>
URL	http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html	

●シーズ顕在化タイプ

概要	<p>産業界の視点（企業ニーズ）で見出されたシーズ候補を対象に、シーズの実現可能性を産学共同で検証する挑戦的な研究開発を支援※シーズ候補とは、企業の視点で見出されたイノベーション創出のもととなりうる研究成果</p>
申請要件等	<p>①企業に所属する企業責任者と大学に所属する研究責任者の連名の申請が必要</p> <p>(1) 企業責任者は、日本の法人格を有する民間企業に常勤し、自ら研究開発を行う能力がある者に限る</p> <p>(2) 研究責任者は、シーズ候補の創出に関わった大学の研究者であること</p> <p>②JST のプログラムオフィサー(PD)を核とした支援組織が、目的達成の為実施上必要な協力・支援ならびに事業終了後のフォローアップ等、一連の業務についての支援を行う（進捗状況の現地調査等）</p>
開発費	800万円（30%を上限とした間接経費を含む）
開発期間	単年度

申請方法	<p>A-STEPホームページ先（下記URL参照）から様式をダウンロードし、作成して下さい。</p> <p>【申請に必要な書類】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 課題申請書・・・電子申請一部、原本一部、コピー6部 2) 特許明細書・・・4部（シーズ候補が特許及び出願中の場合、また出願中かどうか不明な場合は、知的財産管理室（内線2108）まで御連絡下さい。） 3) 参考文献等（3点以内）・・・4部 <p>※申請者による文献（特許も含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 4) 比較文献（3点以内）・・・4部 <p>※コンペティターによる文献（特許も含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 5) 企業パンフレット・・・4部 <p>●2）、3）、4）の書類は、右肩に「特許明細書1」「参考文献1,2」「比較文献1,2」と明記して下さい。</p> <p>●1）申請書は、企業責任者および研究責任者の捺印をしたものを原本とし、捺印後のコピーを写しとして提出して下さい。</p> <p><u>提出申請書に産学地域連携センター長印を押印する必要がある為、6月28日（月）午前中までに、上記申請書類一式を、産学地域連携センター産学官連携コーディネーター佐藤（内線2108）までご提出下さい。</u></p>
	URL

●起 業 検 証 タ イ プ

概要	研究成果に基づくベンチャー企業設立に向け、研究開発を本格的に推進するにさきがけ、企業の可能性を検証する挑戦的な研究開発を支援
申請要件等	<p>①研究責任者と側面支援機関の連名による共同申請である事が必要 (側面支援機関はこちらから参照下さい http://www.jst.go.jp/a-step/outline/kikan.html)</p> <p>②申請時点で、研究責任者(シーズの創出に関わった者であること)が発明者である事業化の核となりうるシーズ(特許やプログラム等)が存在する事が必要</p> <p>③シーズを利用した企業の為の事業化構想の構築の為に、検証すべき対象が明確化できている事が必要</p> <p>④企業検証タイプのプロジェクトリーダーは、研究責任者(シーズ創出に関わった者)とする</p> <p>⑤JSTのプログラムオフィサー(PD)を核とした支援組織が、目的達成の為実施上必要な協力・支援ならびに事業終了後のフォローアップ等、一連の業務についての支援を行う(進捗状況の現地調査等)</p>
開発費	800万円(30%を上限とした間接経費を含む)
開発期間	単年度

	<p>A-STEPホームページ先(下記URL参照)から様式をダウンロードし、作成して下さい。</p> <p>【申請に必要な書類】</p> <p>1) 課題申請書・・・電子申請一部、原本一部、コピー6部</p> <p>2) 特許明細書・・・4部 (シーズ候補が特許及び出願中の場合、また出願中かどうか不明な場合は、知的財産管理室(内線2108)まで御連絡下さい。)</p> <p>3) 参考文献等(3点以内)・・・4部</p> <p>※申請者による文献(特許も含む)</p> <p>4) 比較文献(3点以内)・・・4部</p> <p>※コンペティターによる文献(特許も含む)</p> <p>5) 企業パンフレット・・・4部</p> <p>●2)、3)、4)の書類は、右肩に「特許明細書1」「参考文献1,2」「比較文献1,2」と明記して下さい。</p> <p>●1)申請書は、企業責任者および研究責任者の捺印をしたものを原本とし、捺印後のコピーを写しとして提出して下さい。</p> <p><u>提出申請書に産学地域連携センター長印を押印する必要がある為、6月28日(月)午前中までに、上記申請書類一式を、産学地域連携センター産学官連携コーディネーター佐藤(内線2108)までご提出下さい。</u></p>
URL	http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html

3. (独) 科学技術振興機構 A-STEP

平成 22 年度フィージビリティスタディステージ公募説明会のご案内

A-STEPは大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を基にした実用化を目指すための幅広い研究開発フェーズを対象とした技術移転支援制度です。

採択率の向上を図るため、JST の産学連携展開部の方を講師に御招きし、下記のとおりレクチャー及び説明会を開催しますので、是非ご参加ください。

日時	: 5月25日(火) 17:30~18:30
場所	: 札幌医科大学 北第一講義室(本部棟 3階)
ポスター	: こちらからダウンロードして下さい

附属産学・地域連携センター通信

担当 佐藤 準(産学官連携コーディネーター)・齊藤 亜耶

発行 札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp